

第3回 椎葉小学校 学校運営協議会(2/15)

学校長あいさつの後、「たくましさ」「これまでと違う変容」等の視点を共有して授業を参観いただきました。

校長あいさつ、教室参観の様子



(校長あいさつの様子)



(下学年の授業参観の様子)



(上学年の授業参観の様子)

次のテーマで、委員のみなさんに御意見をいただきました。

① 前回の学校運営協議会における熟議についてと今回の協議についての説明

② 「学校評価アンケート」の結果から、考察や感想を出して、本会としての評価をしていただく

③ 前回と比べ、約3か月が経ち変容があったか？「たくましさ」が見られるか？御意見をいただく

① 前回の学校運営協議会における熟議について

新入生、転入生計6名が加わり、子どもたちが「自分たちで盛り上げよう!」という姿が見られる。

スポーツ少年団や上椎葉商店街で子どもたちを見かけると、元気よく挨拶してくれる(車にも)。

あいさつは原点。とても大切です。子どもたちを見ていると心が和む光景で、根付いていくと思う。

幼い様子だった子どもたちが、地域行事でも成長したり、体も言葉遣いも大人になっていたりして、たくましさを感じる。教育の力のすごさを感じている。

「夢・笑顔・元気」というキーワードが、しっかりとおさえられている。それは学校内外のチームワークだと思う。先生たちの授業を観ていると、子どもたち主体の手立て(めあての設定等)やきめ細やかな支援や優しく手を差し伸べる姿があって、子どもたちの心身のたくましさに繋がっていると思う。ユニット学習のハード面・ソフト面の整備もよい影響となっている。

今回も、徐々に熟議化していきました

先日の持久走大会や運動会において、全ての児童の頑張りを見ていて、昨年より成長が感じられ、周囲の児童も支えている。生きるたくましさを感じた。

学校行事の子どもたちを見ていると最後まで諦めない姿が多く、たくましいと感じる。また、保護者の様子からも、これまでと違い、前のめりに関わろうとしている姿が見られ、印象的だった。

今日の授業の様子では、1年生が全体的に落ち着いて学びに向かっている。たくましく成長してきていると感じる。

先日の餅つき大会を見ていて、以前の椎葉小では、お母さん方が中心になっていたように思います。しかし、お父さんの姿がとても多く見られました。

椎葉小学校の児童に、生命力を感じる。そして、だらーとしていない。それは学校の雰囲気が良いからだと思う。

そのカラーを、中学校にいても保持してほしいので、つながりが大切です。

第3回 椎葉小学校 学校運営協議会(2/15)

① 前回の学校運営協議会における熟議について

Q. 良い姿を維持していくには、何が必要ですか?そのためにできることは何でしょうか?

Q. いいところだけでなく、何か改善が必要なことはないでしょうか?



(前回の熟議の様子)

地域とのつながりは大切だ。また、子どもも保護者も先生を尊敬する、たてる姿勢が大切だと考えている。PTAはよくやっておられるが、様々な面を考慮して、理解を深めるといい。

先生たちが地域の行事や神楽を訪れてくれることはありがたい。
学校と地域との関係性は、別の視点でいうと各地区の公民館としての課題でもある。学校だけの問題ではない。

地域の行事、例えば神楽も含まれると思うが、大人の感覚だけで伝統や文化を存続していく担い手にしてはいないだろうか。子どもの意志や判断が、反映されているのかは大切ではないか...と思う。

体験活動を経た学びは、学習効果が高い。そのエビデンスもある。体験をプラスに受け止めてほしい。体験活動をしていくことで、得た知識が知恵へと変わっていく。

先生がかわっても、どんな先生が赴任されても、学校には今の良い姿を維持してもらいたい。先生の異動で変わるのは困る。

私の地区では、地域が主体となって様々な取組・行事に参加するだけでなく、参画している。成長もしている。
しかし、受験に対応できる学力は身に付けさせないといけない。高校に行けば村外に行くが、いい付き合いと悪い付き合いの区別がつく子どもであってほしい。

過去を振り返ると、中学を卒業して村外(街)に出た後、対応できない子が少なからずいた。街で反社会的な考えには、「No」と言えるようになってもらいたい。

体験活動を経た学びは、特に椎葉村学は意義がある。今年度の椎葉小を見ていて、強みある先生方が多い。
だからこそ、先生方、そして学校が強みをいかに引き継いでいくかは注目している。

日高校長より

昨年度との違いは「児童の欠席が少ない」ということ。これは、本校の先生方がきめの細かい温かみのある支援をしてくださっているからである。それが、本日教室参観いただいた教室等の掲示物に現れている。先生たちの頑張りがあるからこそ椎葉小学校である。常に感謝している。

委員から

椎葉小では過去3回にわたり、校長・教頭が同時に異動した。昨年度は教務主任も異動であった。このような異動については、考慮していただきたい。
その後、他の委員も本意見に同意があり、今回の学校運営協議会の決議として承認された。

決議内容について
日高校長が即時、村教育委員会へ報告した。

次回、第3回学校運営協議会は、令和6年2月15日(木)です。

第3回 椎葉小学校 学校運営協議会(2/15)

「学校評価」アンケート結果(抜粋)

(4段階評価) 4:とてもそう思う(A) 3:そう思う(B) 2:そう思わない(C) 1:全くそう思わない D ■:わからない(評価できない)

評価項目	A	B	C	D	E
① 学校は、授業や教材、ICT(タブレットなど)をうまく使って、子どもの学力や学びの気持ちなどがよくなっていますか。	43.2	56.8	0.0	0.0	0.0
② 学校は、子どもがわからないときに分かるまで教えたり、友だちと意見を話しあう学習をとおして、「分かるまで、よくなる指導をしたりしていますか。」	43.2	43.2	2.7	2.7	8.1
③ 学校は、授業の中で、学習の「楽しさ」や「準備」などといった態度やルールが身につくようにしていますか。	43.2	48.6	5.4	0.0	2.7
④ 学校は、学校の生活の中で、子どもが夢や希望をもって努力し、できるようになるようにしていますか。	32.4	56.8	5.4	0.0	5.4
⑤ 学校は、「ふるさとのよき」に基づき、「ふるさとを愛する心」が育つようにしていますか。	54.1	32.4	8.1	0.0	5.4
⑥ 学校は、保護者と協力し、子どもに合った家庭学習の取組がなされていますか。	35.1	54.1	2.7	2.7	5.4
⑦ 学校は、「椎葉っ子5つのやくそく」に基づいた生活が身につくようにしていますか。	27.0	37.8	13.5	0.0	21.6
⑧ 学校に来られた時に、子どもたちは、明るい声で自らあいさつすることができていますか。	35.1	37.8	21.6	5.4	0.0
⑨ 学校は、学級や学校にいる子どもを大切にできるようにしていますか。	48.6	40.5	5.4	0.0	5.4
⑩ 学校は、子ども一人一人の自主性と個性の伸長に努めていますか。	43.2	43.2	10.8	0.0	2.7
⑪ 学校は、子どもが学校生活の中で困っているときに、相談のついでに聞いてくれますか。	45.9	43.2	0.0	2.7	8.1

評価項目	A	B	C	D
① 御家庭では、勉強に集中できる環境づくりがはたかたり、子どものノートやプリントなどに目を通すなど家庭学習の様子を見かっていますか。	20.6	61.8	14.7	2.9
② 御家庭では、子どもの話をよく聞いたり、子どもと話をしたりして、子どもの様子に変化がある場合には学級や学校の先生と連絡を取り合っていますか。	26.5	61.8	11.8	0.0
③ 子どもは、明るい声で、自分からあいさつができていますか。	17.6	47.1	35.3	0.0
④ 御家庭では、早寝・早起き・朝ごはん(時間)に合うように登校させる)に心がけていますか。	58.8	38.2	2.9	0.0
⑤ 御家庭では、子どもとテレビやゲーム・スマホなどの使用のきまりを決めたり、利用状況(内容や時間)を把握したりしていますか。	26.5	50.0	20.6	2.9
⑥ 参観日や学校行事、PTA活動等に、できる範囲で協力していますか。	58.8	41.2	0.0	0.0

評価項目	A	B	C	D	E
⑦ 学校は、「椎葉っ子5つのやくそく」に基づいた生活が身につくようにしていますか。	29.6	59.3	7.4	3.7	0.0
⑧ 学校に来られた時に、子どもたちは、明るい声で自らあいさつすることができていますか。	29.6	55.6	3.7	7.4	3.7
⑨ 学校は、学級や学校にいる子どもを大切にできるようにしていますか。	70.4	29.6	0.0	0.0	0.0
⑩ 学校は、子ども一人一人の自主性と個性の伸長に努めていますか。	63.0	29.6	7.4	0.0	0.0
⑪ 学校は、子どもが学校生活の中で困っているときに、相談のついでに聞いてくれますか。	40.7	33.3	18.5	7.4	0.0

評価項目	A	B	C	D	E
⑦ 学校は、「椎葉っ子5つのやくそく」に基づいた生活が身につくようにしていますか。	11.8	76.5	11.8	0.0	0.0
⑧ 学校に来られた時に、子どもたちは、明るい声で自らあいさつすることができていますか。	5.9	64.7	29.4	0.0	0.0
⑨ 学校は、学級や学校にいる子どもを大切にできるようにしていますか。	11.8	88.2	0.0	0.0	0.0
⑩ 学校は、子ども一人一人の自主性と個性の伸長に努めていますか。	17.6	82.4	0.0	0.0	0.0
⑪ 学校は、子どもが学校生活の中で困っているときに、相談のついでに聞いてくれますか。	11.8	82.4	5.9	0.0	0.0

② 「学校評価アンケート」の結果から、考察や感想を出して、本会としての評価をしていただく

これまで、運営協議会や学校行事で子どもたちの様子を見るが、毎回成長しているし、遅くなっていると感じている。

教員の結果から「B そう思う」という割合が多いのは、よりよくしたいという思いではないか。また、保護者も子どもたちの成長の余地を考えている面があるのではないかな。そうならば、この結果は正当な評価である。

家庭でのスマホ・ゲームのルール作りは難しい。時間を決める等しているが…。多くの保護者は同じような考えではないか。また、児童が相談のついでにもらえると思っていない割合が気になる。

家庭でゲームは買い与えなかった。与えるのは簡単だが、その分一緒に過ごしたり、会話したりする時間は減っていく。あいさつの結果において、「子どもはしている」「大人はしていない」というギャップは何か、またどうすればよいかは今後考えていく必要がある。

ゲームやSNSで昼夜逆転がある場合、対応が必要、一方で親自身の使い方も影響していることを知ることが大切。

保護者の評価であいさつの項目についてCが多いが、ここまで見ていて、よくなっていると感じている。学校だけではなく、家庭・地域、スポ少等の社会体育からの関わりも必要と感じる。

これまでも各学級で担任との教育相談は定期的に行っているところである。今後、教員の側から児童に突っ込んで聴いたり、教育相談は前向きな場だと認識させる手立てをつくらせていく。また、今後もフレンドリー委員会で、小さなことや変化を教員・SSW間で情報共有を続けていく。

子どもたちから「相談できない」という割合が気になる。いろいろな場や機会があると思うが、少しでも居心地の良い環境作りに繋がるといい。

学校がどのように児童と関わっているのか、分かっている。先生方は普段から小さな言葉を大切に、細やかな対応をしておられます。保護者を含め、問題の背景を改めていく必要性を感じている。そのためには、関係する人・諸団体等との連携が必要だが、難しい側面もある。



第3回 椎葉小学校 学校運営協議会(2/15)

② 「学校評価アンケート」の結果から、考察や感想を出して、本会としての評価をしていただく

今回も、徐々に熟議化していきました



(協議の様子)



三者で構成されている「学校評価アンケート」は、意義があると考えます。項目で「あいさつ」「子どもの相談」についてはギャップがある理由が大切と思う。

SNS等、インターネット等については、健康を害するのはダメだが、今後より重要性や価値が上がり、「当たり前」「欠かせぬもの」になる。どう使うのかがカギではないか。

中身の大切さ・・・その通りだと思う。一方で、世代間のギャップを埋めていくことが難しいのも実情です。考えを擦り合わせることを続けていく、その結果、良い効果が生まれる。

今回、「蜂の子」を持参した。2050年の未来を考えた時、今の小学生は生きているし、我々は(笑)。その時、北半球と南半球は逆転し、サバイバル力(ハングリー精神等)といった「生きる力」が低下する状況にある日本・・・人口減少・異常気象・AIといった予測不可能な時代に生き残れるのか？そこで、「蜂の子」。高タンパクで栄養素も高く高級食材であるが、食べた経験のない人が多い。つまり、経験がある、なしで生き方が大きく変わると思うし、たくましさにも比例するのではないかと。

このアンケートは重要だと感じる。子どもと保護者とのズレ、先生と子ども・保護者とのズレを受け止め留意しなくてはならない。ただ、先生方のB回答が多いのは、Aに向けての模索からではないか。

子どもの発達段階に応じ「どのように関わっていくのか」を家庭教育学級や社会教育等をとおして学んでいくことが重要と考える。

大切なのは、「健康」「(人としての)中身のあるなし」と思う。例えば、添加物のものばかりを食べていては健康にはなれない。季節の旬のものを口にする事・・・椎葉は適している。その積み重ねで健康となり、たくましさも養われる。

そういった「椎葉ならではの良さ」を、今年度から始まっている「椎葉村学」に取り入れる等して、学んでほしい。



日高校長より

- 1 「学校評価」アンケート結果について
いかに次年度へ繋いでいくかを考えれば、重要なのは「E 分からない(判断できない)」の意見です。いかにすれば分かってもらえるのかを念頭に学校運営を推進していきたい。
- 2 子どもの声を聞く場、機会について
毎月教育相談を実施しているが不十分と考えている。次年度より、通知票の配付を2回とし、落ち着いた時間の中で子どもと教師が話せる場を創出し、評価にも生かしていきたい。また、保護者への教育相談も充実していく。
- 3 子どもたちに身に付けさせたい資質・能力について
メディアコントロール、情報モラルについては、今後も指導を続けていく。また、今年度から避難訓練を段階的に工夫してきた。それは「危険回避能力」「危険予知能力」を高めることを目的にしたためである。自然災害だけに止まらず、ミサイル等を含めて予測不能なことに、適切に対応できる力を養いたい。
また、自分だけではなく、周りも「幸せ」「良い状況」を目指すことができる児童へと育てていきたい。

まとめ

- 1 令和6年度学校経営全体構想図について
(1) 日高校長より、次年度の学校経営方針について説明があり、学校教育目標・目指す児童像の変更を含め、提案がありました。
(2) 委員の皆様から、全会一致で御承認をいただきました。
- 2 「学校評価」アンケートについて
(1) 学校からの自己評価の説明及び熟議を踏まえ、委員の皆様からの評価をしていただきました。
(2) 委員の皆様から、4段階でもっとも高い「4」を全会一致でいただきました。
※ 今後も成果を生かしつつ課題解決に向け取り組んで参ります。